

練馬区における外環の地上部街路について

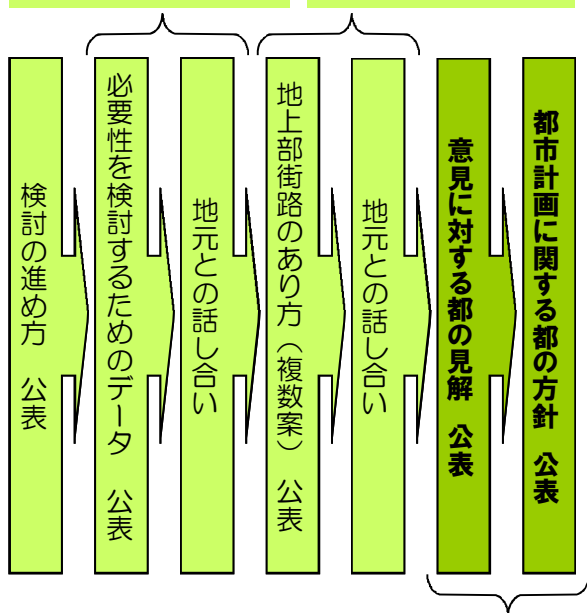
都市計画に関する方針 都市計画変更素案の説明会の記録

東京外かく環状道路（外環）の地上部街路（外環の2）は、昭和41年、高速道路の外環とともに、都内の都市計画道路ネットワークの一部として都市計画決定されています。平成19年、高速道路の外環の都市計画を高架方式から地下方式に変更したことを踏まえて、環境、防災、交通、暮らしの4つの視点で、外環の地上部街路の必要性やあり方などについて、広く意見を聴きながら検討を進めることとしました。

このたび、これまでの検討を踏まえ、この地上部街路の都市計画に関する方針を定め、これに基づき都市計画変更素案を作成しました。このリーフレットは、平成26年6月に開催した説明会でいただいたご意見の概要です。

検討のプロセス

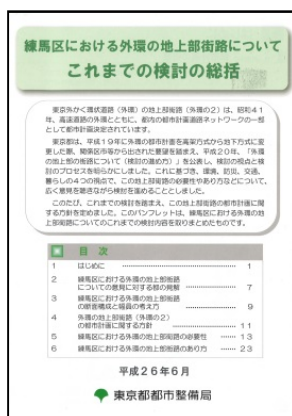
- 話し合いの会
(平成22年6月～平成23年8月)
- 広く意見を聴く会
(平成23年11月)
- 広く意見を聴く会
(平成26年1月)
- オープンハウス
(平成26年2月)



説明会の概要

開催日	場所	来場者
平成26年6月7日	上石神井小学校	194名
平成26年6月8日	大泉高校	195名
平成26年6月9日	大泉東小学校	132名

いただいたご意見カード：81通（平成26年6月16日現在）



■配布したパンフレット
(これまでの検討の総括)



■説明会の様子

説明会(平成26年6月)

オープンハウス(平成26年6月～7月)

お問い合わせ先

東京都都市整備局 都市基盤部 街路計画課 外かく環状道路係
〒163-8001東京都新宿区西新宿2-8-1 第二本庁舎22階南側 電話：03-5388-3279
ホームページ：<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/gaikaku/>（関連資料の公表先）

説明会でいただいたご意見の概要

地上部街路の必要性等についてのご意見

地上部街路の必要性

- 道路は必要であり、早期の着工を望む
- 反対意見も大切だが、道路の早期完成が必要
- 練馬区は道路が少なく不便である
- 100年後の練馬区のためにも必要な道路である
- 地域の安全にとって重要なインフラである
- 震災等を経験し、道路の重要性を認識
- 車の流れを良くし、CO₂を減らす必要がある
- 50年前の計画を進めるのではなく、新しい未来のための道路づくりを進めるべき
- 高速道路の外環が地下化されたのだから、地上部の道路は廃止すべき
- 計画廃止の可能性はあるのか
- 必要性を示す数値的なデータはひとつもない
- 地上部街路の将来交通量とその前提条件を教えてください
- 防災上必要な理由がわからない
- 震災時には停車している車が炎上し、延焼が拡大する
- 人口減少、少子高齢化、若者の車離れにより自動車交通が減少するため、道路は必要ない
- 自動車の流入が増加し、地域の風格を損なう

地上部街路の整備による影響

- 沿道環境や石神井公園に与える影響が心配
- 類似道路の沿道環境のデータは道路の状況が異なる
- 大気汚染物質の濃度の最大値はもっと高いのではないかと
- 地上部街路はバイパスとなり、環境や教育を破壊する
- 幅員を狭くすると、環境への影響が大きくなる
- 住宅街に大気汚染物質を持ち込まれては困る
- PM2.5の増加が不安
- 騒音の環境基準の考え方を教えてください
- 緑の面積の増減を教えてください
- 地下水についての検討が必要
- 地域分断や歩行者の横断が心配
- 上石神井駅と大泉学園駅を結ぶバスはどうなるのか

他の施策を優先すべき

- 被災地の復興など他の施策を優先すべき
- 上石神井駅周辺や交差点などの部分的な改良を行うべき
- 公共交通機関の整備を行ってほしい
- 電線地中化、駐停車対策、通学路整備などを進めるべき

地上部街路のあり方についてのご意見

断面構成と幅員の考え方

- 幅員22m案は、環境、防災、交通、暮らしの4つの視点からみて合理的であり、地域の課題を解決できる
- 幅員40mで早期の事業化を行うべき
- 自転車道は必要であり、幅員22mでの整備を望む
- 幅員40mから幅員22mに変更する根拠が明確でない
- 緑の創出、防災に適した道路を整備するという、これまでの説明と整合性が取れていない
- 緑地帯でなく植樹帯になったことは残念
- 街路樹は環境保全に役立たない
- 自転車道は地域住民の利用を考えると1番現実的で良い
- 対面通行は危険なため、自転車レーンにすべき
- 自転車道から住宅への出入りが気になる
- 裏道に車が進入しないようにすべき
- 横断歩道、歩道橋、通学路を設置してほしい

地上部街路の代替機能

- 代替案の検討が詳細にされていない
- 代替機能の幅員49mの考え方がおかしい
- 既存道路を拡幅すべき
- 狭くて危険な状況にある上石神井通りに手を付けず、地上部街路を作る意義がわからない

上石神井駅周辺の整備

- 交通広場は広く意見を聴き、調整すべき
- 駅周辺の計画は再開発をからめて事業決定する必要がある
- 道路だけでは意味がない。商店街や街並みも整備すべき
- 西武新宿線の高架化は決まっているのか
- 西武新宿線の高架化を並行してやらないといけない
- 渋滞の原因は上石神井の踏切。まず踏切の解消をすべき

検討の進め方についてのご意見

検討の進め方

- なぜ練馬区間だけを先行させるのか
- 多くの住民の意見を聴いて都市計画の見直しをすべき
- 住民の意見がどのように反映されるのか
- 移転棟数と事業費が知りたい

今後の進め方

- 補償はどうなるのか
- 代替地は確保されるのか
- 影響を受ける住民との円満合意が必要
- 都市計画や事業のスケジュールはどうなるのか

説明会の運営方法

- 非常にわかりやすい資料と説明だった
- 反対が多く前向きで建設的な意見や質問は出しにくい
- 具体的に知りたいことが聞きにくい雰囲気があったので、オープンハウスやご意見カードは良い試み
- 質問時間を1分とし、多くの人の意見を聴くべき
- 住民の声を聴く姿勢が欠けている
- 時間切れで終わらずに、もっと発言させ、真摯に回答すべき